

第64回 青雲塾 報告

<http://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/list.html>

青雲塾担当 松井繁幸 (第23期)

1. 日時 6月22日(土) 午前9時30分～12時30分
2. 場所 大阪大学中之島センター 607
3. 会費 2,500円(・レクチャー 1,000円 資料代その他経費を含む ・茶話会 1,500円)
4. 講師 三成 賢次 先生(みつなり けんじ 青雲会28期 1980年卒業)
大阪大学 大学経営総括理事・副学長(計画評価、施設、広報担当)
5. 演題 「大阪大学の現状と課題—国立大学の改革と評価をめぐって」
6. 講師のプロフィール

1985年3月 大阪大学大学院法学研究科公法学専攻後期課程修得退学
1985年4月 大阪大学助手法学部
1987年4月 大阪大学助教授法学部
1997年7月 大阪大学教授法学部
1999年1月 博士(法学)(大阪大学)
1999年4月 大阪大学教授大学院法学研究科
2002年4月 大阪大学評議員(2004年3月まで)
2004年4月 大阪大学大学院法学研究科長・法学部長(2008年3月まで)
2007年4月 大阪大学総長補佐(2009年8月まで)
2008年5月 大阪大学教授大学院法学研究科附属法政実務連携センター
2011年4月 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター長(2015年8月まで)
2012年4月 大阪大学理事補佐(2015年8月まで)
2015年8月 国立大学法人大阪大学理事・副学長

(研究内容・専門分野) 近代ドイツ法史に関する研究

(主な著書)

- ・「ドイツにおける近代地方自治制度の成立と発展」地方自治大系1, 嵯峨野書院 1989年
- ・「イングランドの法と社会」(共訳) 風行社 1993年
- ・「法・地域・都市—近代ドイツ地方自治の歴史的展開—」敬文堂 1997年
- ・「地方分権改革」(共著) 法律文化社 2000年
- ・共著『次世代法曹教育』(日弁連法務研究財団編) 商事法務研究会 2000年
- ・「司法改革と大学教育」(『だれのための「司法改革」か』所収) 日本評論社 2001年
- ・分担執筆(國井和郎・三井誠編『ベシク法学用語辞典』) 有斐閣 2001年
- ・『ガンス法哲学講義 1832/33 自然法と普遍法史』法律文化社 2009年

7. 青雲塾担当から

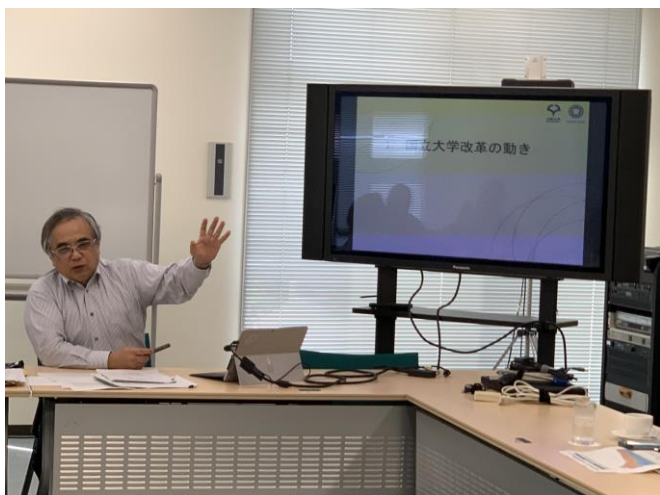
5月3日の大阪大学ホームカミングデーで、突然に次回青雲塾の講師をお願いした失礼にもかかわらず、快諾していただき、青雲塾担当として何よりの喜びです。今回は、ご専門の近代ドイツ法史関連から離れ、副学長のお立場から、大阪大学の経営全般をテーマにお話いただきました。前日、発表された政府の「骨太の方針」に明記してある大学改革など、新聞やTVなど一般メディアではなかなか取り上げられないテーマが大阪大学に深刻な影響があるなど、大学行政に縁のない者にとっては、意外な話の連続でした。

茶話会では、冒頭、青雲会会長として、大学側の窓口の三成先生とご縁の深かった塚口純行さんにご挨拶をいただきました。

新年度にはいり、青雲塾担当として新たに25期の西尾公一副会長を迎えました。たまたま、同じ高津高校の同窓でもあります。タグを組んで青雲塾に新しい風が吹くことが出来ればと期待しています。

時代が平成から令和と変わっての初回、おかげさまで充実した内容となりました。開催後、三成先生から「先輩方の前で緊張しましたが、大阪大学が現在置かれている状況について、皆様に少しでもお伝えすることができましたら幸いです。」とのメッセージをいただき、恐縮しました。お忙しい中、貴重な時間を割いていただいた三成先生、またご参加の皆様、有難うございました。

第64回 青雲塾 (2019. 06. 22) (写真)



①国立大学改革の動きを説明される三成先生



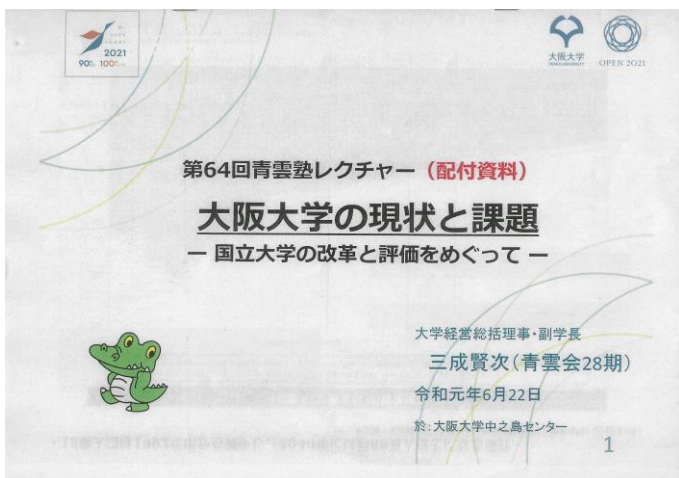
②大阪大学を取り巻く厳しい状況に耳を傾ける



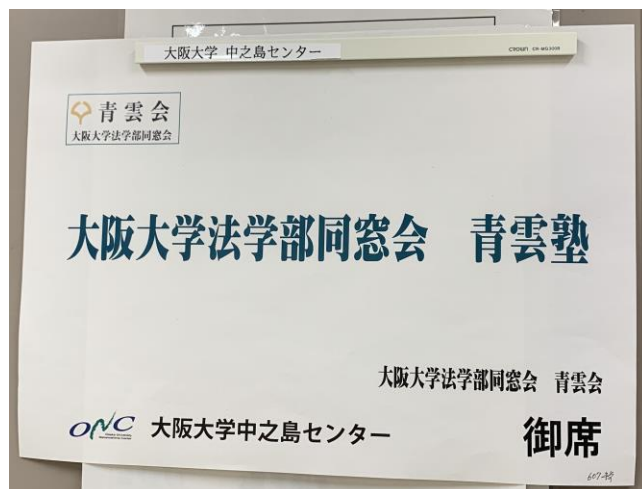
③茶話会に入っても議論は続く



④茶話会 全景



⑤詳細な資料の表紙



⑥青雲塾 案内板